

特集にあたって

多職種・包括的サポートで 患者・家族の「食べたい」を叶える

小山珠美 Koyama Tamami

NPO 法人口から食べる幸せを守る会理事長、
JA 神奈川県厚生連伊勢原協同病院

わが国では、世界に類をみない規模とスピードで超高齢社会が進展している。

団塊の世代が75歳以上に達する2025年には高齢化率が30%、2055年には40%にも及ぶことが試算され、要介護高齢者は増加の一途を辿ることになる。これらのことを視野に「地域包括ケア・在宅ケア」の重要性が叫ばれ、医療、看護、介護、リハビリテーション、保健、予防などの多岐にわたる広範な政策概念が練り広げられている¹⁾。

しかし、住み慣れた自宅で最期まで過ごしたい・過ごさせてあげたいと願う当事者や家族の思いに応えようとしたとき、住宅事情、介護者不足、マンパワー不足、ケア不足は深刻である。とくに、食べることに困難を有する要介護高齢者は、複合した病気や障害を有しているため、食事の介助技術は難易度を増している。また、誤嚥性肺炎への過剰な不安が懸念されるあまり、非経口栄養のみで管理されやすい状況が生まれている。そのことで、人生の最大なる楽しみである最期まで食べ続けたいという願いが叶わないでいる要介護高齢者も少なくない。

そのため、食べる支援には、医学的管理のみ

ならず、誤嚥性肺炎や低栄養のリスクを勘案した心身の調和への、包括的なサポートが必要である。安全でQOLを高める食事介助、姿勢調整、栄養ケアなどを多職種で協働し連携することで、食べ続けたいという願いは叶えられるはずである。関係者には、「食べることは誤嚥性肺炎のリスクがあって危険」と管理するのではなく、「どうすればその人が願う食支援ができるか」を実践できることが大きく期待されている。そこで筆者らは、口から食べ続けるための共通言語としての包括的支援ツールが必要と考え、「口から食べるバランスチャート(KT バランスチャート[®]またはKTBC[®]; Kuchikara Taberu Balance Chart)」を開発した。

KTBCは、「①食べる意欲」「②全身状態」「③呼吸状態」「④口腔状態」「⑤認知機能(食事中)」「⑥咀嚼・送り込み」「⑦嚥下」「⑧姿勢・耐久性」「⑨食事動作」「⑩活動」「⑪摂食状況レベル」「⑫食物形態」「⑬栄養」の13項目で構成されている。本ツールは対象者の不足部分を補いながら、可能性や強みを引き出す包括的スキルとケアリングを内包し、視覚的に情報の共有ができる仕組みとなっている。本ツールを用いて、多職種で

総合的に評価しながら、治療・ケア・リハビリテーションを展開することで、当事者や家族も含めて在宅で食べる支援の「見える化」を進めていくことができる。そのことで、それぞれの専門性や立場を超えて、人的ネットワークを構築しつつ、個別のニーズに応じた支援となり、当事者主権の安寧ある生活に応えることができると考えている。

本特集にて、人生の最期まで美味しく幸せに食べ続けられる支援の輪が広がることを期待している。

※KT バランスチャート®(KTBC®)は登録商標であるが、文言や評価点などの改変を行わなければ、自由に使用して構わないツールである。

▶文献

- 1) 小山珠美・編：口から食べる幸せをサポートする包括的スキル；KT バランスチャートの活用と支援．第2版，医学書院，東京，2017，pp 12-92.

KT バランスチャート 入力用シート

【使用目的】

- KT バランスチャートは、対象者の口から食べる支援において、包括的な視点で多職種による評価とアプローチをするためのアセスメントツールです。
- 「口から食べる」ための要素を13項目に分類したもので、それぞれの項目について5段階で評価し、全体のバランスを評価するためのものです。不足な点はケアやリハビリテーションを充実し、伸ばしたい点や強みへのアプローチへとつなげます。
- 評価や変化を可視化し、多職種で共有し、チーム力を駆使して対象者の食べる能力の維持・向上をはかるためのツールです。

【活用方法】

- 13項目それぞれを1～5点でスコア化し、レーダーチャートにします。
- 生活者として対象者の心身を整えていくために、評価点の低い項目へのケアの充実とステップアップ、評価点の高い項目の維持を意図した介入を行います。

【13項目の構成】

- 1) 心身の医学的視点
 - ①食べる意欲，②全身状態，③呼吸状態，④口腔状態
- 2) 摂食嚥下の機能的視点
 - ⑤認知機能(食事中)，⑥咀嚼・送り込み，⑦嚥下
- 3) 姿勢・活動的視点
 - ⑧姿勢・耐久性，⑨食事動作，⑩活動
- 4) 摂食状況・食物形態・栄養的視点
 - ⑪摂食状況レベル，⑫食物形態，⑬栄養

【評価点】
評価基準を参照

【注意点】

- *本バランスチャートの改変は禁止致します。
- *使用にあたっては必ず「KT バランスチャート」または「KTBC」と明記してください。
- 《KT バランスチャート入力》 1点～5点までの点数を入力するとグラフに反映します

項目	初回評価時点数	評価時点数	評価時点数
①食べる意欲			
②全身状態			
③呼吸状態			
④口腔状態			
⑤認知機能(食事中)			
⑥咀嚼・送り込み			
⑦嚥下			
⑧姿勢・耐久性			
⑨食事動作			
⑩活動			
⑪摂食状況レベル			
⑫食物形態			
⑬栄養			

KT バランスチャート

①食べる意欲 ②全身状態 ③呼吸状態 ④口腔状態 ⑤認知機能(食事中) ⑥咀嚼・送り込み ⑦嚥下 ⑧姿勢・耐久性 ⑨食事動作 ⑩活動 ⑪摂食状況レベル ⑫食物形態 ⑬栄養

—— 初回評価時点数 —— 評価時点数 —— 評価時点数

(小山珠美・編：口から食べる幸せをサポートする包括的スキル；KT バランスチャートの活用と支援．第2版，医学書院，東京，2017，pp 12-92. /<http://www.igaku-shoin.co.jp/prd/03224/>より引用)